

### 残業せずに「定時で変えるトップ営業マン」の仕事術

#### ノルマと仕事は増えるのに「残業するな」の矛盾

ここ最近、ニュースなどで残業問題が取り上げられることが多くなった。コンプライアンスや人件費の問題により、残業時間を減らす企業が増えている。それはいいことなのだが、問題は仕事量が変わらないことだ。特に営業職では、ノルマはそのまま、もしくは増えているなんてことも珍しくはない。むしろ、仕事はどんどん増えていくといった状況だろう。

会社サイドの対策として「水曜日はノー残業デー」「20時になったら自動的に会社の電源が落ちる」などを行っている。中には「ノー残業デーに残業をすると罰則がある」という会社もある。

こういった対策は《今日はノー残業デーだから早く帰ろう》という意識を植え付けられる。しかし、根本的な解決にはならない。多くのビジネスマンは「ファミレスか家に帰って残りの仕事をしていますよ」と愚痴をこぼしている。それが実態だろう。つまり、規則や罰を与えるだけでは残業の問題は改善しない。

これから生き残っていくためにも会社が何かしてくれるのを待っているのではなく、自分自身で「何らかの方法論」を学び実行していく必要性を誰しも感じているだろう。

#### 夜遅い時間にした仕事は、だいたい無駄になるという事実

夜遅くまで頑張って作成した提案書や資料が翌日見たら使いものにならなかった…という経験はないだろうか？

実はかつて営業マンだった私自身、ずっと長い間「提案書や資料は夜作るもの」と思い込んでいたのだ。毎日夜 21 時まで訪問し、それから提案書や資料を作成する。このサイクルで仕事をしていれば、どうしても仕事が終わるのは夜の 24 時、25 時過ぎになってしまう。これではよい内容の資料や提案書が出来ていけば救いなのだが…。しかし翌日内容を見て《これじゃ使い物にならないよ。3 時間もかけて作ったのに…》とため息をついていた。

この初期の営業マン時代の私は、深夜まで残業をしていたにも関わらず、営業成績は最悪で“ダメ営業マン”の烙印を押されていた。

#### 空き時間を利用して仕事はツーステップで行う

営業成績が上がるにつれて、仕事はダメ営業マン時代の 4 倍以上に増えた。朝から晩まで仕事をして、どうにも間に合わない。ダメ営業マン時代は「早く帰りたいなら契約を取って来い」と言われ、契約を取ったら取ったで、今度は書類やお客への資料の作成、業者への連絡などの仕事が多くて帰れない。これは本当にイライラしたものだった。夜は疲れ切り頭が働かなくなる。仕方がなく日中の空き時間で必要な情報や項目を集め、朝まとめるしかなかった。

しかしこれが「怪我の功名」で大きな発見になった。ツーステップで行う仕事の効率の良さについて、身をもって感じるようになる。よくよく考えてみれば当たり前のことだった。夜は疲れ切っており、こんな状態で真っ白な PC 画面に向かって何も出てこない。いきなり真っ白な画面に向かうのではなく（１）「情報を集める」、（２）「まとめる」とツーステップで行った方が何倍も時間短縮になる。また、疲れ切った夜に苦しんで作るより、リフレッシュしてすっきりした朝に資料や書類を作った方がいいものが出るに決まっている。その結果、「前倒しのサイクル」になり、大幅な時短に成功したのだ。

それからほどなく当時の社内では全国でも非常に珍しい「定時で帰るトップ営業マン」になった。

東北から元気発進！！ワクワク“夢実現”プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として  
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します

### まとまった時間は朝しかない

私はこのやり方を今でも利用して仕事をしたり、文章を書いたりしている。朝の時間を“プラチナ時間”と呼び、今時間で重要な仕事をこなしている。「朝から文章なんて書けない」という方もいるだろう。書けないのは眠いからではなく、ネタ不足というケースも多い。また「夕方から会社でゆっくり資料をつくる」という人もいるが、果たしてゆっくり取組む時間はあるだろうか？

突然電話がかかってくる、雑用を頼まれる、隣の同僚に話しかけられる、メールが届く等、いろいろな事で遮断される。考えている時に邪魔が入るとはじめからやり直しになったりする。こうしてどんどん時間が浪費されていく。

ツーステップのいいところは、日中集めたネタが一晩寝かせることで、いいアイデアに熟成していくことだ。そして翌朝一気にアウトプットすると短時間でいいものが出る。

《いつも忙しくて時間が無い》という方はインプットを昼間の細切れ時間でして、アウトプットを朝にしてみてもいいだろうか。

### 夜の作業は無駄が多い 朝に集中して行う

夜疲れ切った状態でアウトプット系の仕事をすれば、自分の力を発揮できないのは既に説明した通りである。さらに夜は“時間制限がない”ことで、より時間を無駄に費やしがちだ。仕事が終わらなければ、変える時間さえ先送りにすればいいのだから、どんどんオフィス滞在時間が長くなる。そうなると当然ながら、集中力は落ちる。途中でコーヒーを飲んだり、たばこを吸ったり、ネットを見たり、雑談したりと余計な時間を使ってしまう。これでは、いつになっても仕事が終わらない。

一方、朝にはリミットがある。簡単な書類作成程度なら、出社前でも、さっさと片付けることができるはずだ。《30分でこの提案書を作ってしまふぞ》と思えば、自ずと集中力が上がり無駄なことをしなくなる。

### あなたは何千回と「テスト」をやってきた

このような話をすると《イヤイヤ、焦ってやってもいいものがないよ》という方がいるだろう。なにも“3時間かかる仕事を1時間でやれ”と言っているわけではなく、30分でできる仕事を30分でやればいいのだ。学校のテストは「あと5分あれば出来るのですか」と言っても延長はしてくれず、時間が来れば終わりである。仕事もテストのように考えてみて欲しい。リミットがあるからこそ集中力が高まる。

朝の時間を活用し、すべての仕事にリミットを設定する習慣が身に付いた時、あなたは驚く程の時短に成功しているだろう。

DIAMOND online 営業サポートコンサルティング 代表取締役 菊原智明



会社がある梁川町から車で約20分走ると、宮城県白石市に行けます。

そこに宮城県のB級グルメ“ミサワヤさんの肉団子”をGETしに行ってきました。

折角行ったのに、残念なことに肉団子は売り切れとガッカリしていたら、

店主のおじさんが、「今揚げている所だから待っていて」と熱々を買ってくれました。

1串に3個刺さっていて、噛むと肉々しくて絡まっている餡が絶妙に美味しい。

メンチカツも購入しました。こちらもお肉がびっしり詰まっています。美味でした。

地元の人意外は殆ど知られていないようですが、私がお店にいる間に数名来店し

皆お惣菜を購入していきました。地元の方に愛されているお店のようです。



東北から元気発進！！ワクワク“夢実現”プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として  
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します